

広げよう 読書大好き いちごっ子の輪

第2次

比布町子ども読書活動推進計画

(2019年度～2023年度)



平成31年3月

比布町教育委員会

比布町子ども読書活動推進計画

目 次

はじめに

1 計画策定の趣旨・背景	1
2 計画の期間	1
3 計画の対象	1

第1章 子どもの読書活動推進に向けての基本方針

1 家庭・地域・学校等を通じた子どもの読書活動の推進	2
2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備	2

第2章 子どもの読書の現状と課題

1 家庭・地域・学校における読書活動	3
2 子どもの読書環境	4

第3章 子どもの読書活動推進のための方策

1 家庭・地域・学校等を通じた子どもの読書活動の推進	5
2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備	5
3 財政上の措置	6

はじめに

1 計画策定の趣旨・背景

比布町では、子どもたち一人ひとりの豊かな人間性と確かな生きる力を身につけることを目指し、子どもの読書活動の現状と課題を踏まえ計画的な推進を図るため、平成 26 年 3 月に「比布町子ども読書活動推進計画」（以下、「第 1 次計画」という。）を策定しました。

国においては、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、環境の整備を積極的に推進することを基本理念とし、平成 14 年 8 月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第 1 次基本計画）を策定しました。北海道においても、平成 15 年 11 月に「北海道子どもの読書活動推進計画」が策定され、その後、平成 20 年 3 月には第 2 次計画、平成 25 年 3 月には第 3 次計画を策定し、平成 30 年 3 月には、第 1 次～第 3 次計画における成果と課題の整理及び主要施策の数値目標化等の改定が行われ、第 4 次計画が策定されました。

このたび、比布町では平成 30 年度で第 1 次計画期間が終了することから、第 1 次計画を引き継ぐとともに、「北海道子どもの読書活動推進計画」（第 4 次計画）の方針を踏まえ、「第 2 次比布町子ども読書活動推進計画」を策定します。

2 計画の期間

計画期間は、2019 年度から 2023 年度までの 5 年間とします。

ただし、この間の社会情勢の変化に柔軟に対応できるよう、必要に応じて計画の見直しを行います。

3 計画の対象

計画の対象は、0 歳から 18 歳までとします。

第 1 章 子どもの読書活動推進に向けての基本方針

1 家庭・地域・学校等を通じた子どもの読書活動の推進

子どもの読書活動を推進するためには、家庭・地域・学校等、町全体で読書を推進する取り組みが不可欠です。そのため、関係機関が連携し、子どもたちの発達の段階に応じて読書に親しむ機会を提供します。

2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備

子どもの自主的・主体的な読書活動を推進するため、図書館資料をはじめ学校図書資料の整備・充実を図ります。また、子どもの読書活動を支援するボランティアの推進に努めます。

比布町のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にその環境整備を図ります。

また、読書活動の意義や重要性について、子どもや学校のみならず、地域・保護者にも広く周知していきます。



ブックスタート事業

第2章 子どもの読書の現状と課題

1 家庭・地域・学校における読書活動

- 家庭は、日常生活を通して子どもが読書習慣を形成していく上で重要な役割を担っています。子どもの読書習慣は日常の生活を通して形成されるものであり、読書が生活の中に位置づけられ継続して行われるよう、保護者が子どもの読書活動の機会の充実及び読書週間の定着に向けて積極的に取り組み必要があります。

【現状】乳児時期から親子で読書に親しむ習慣づくりとして、保健福祉課と協力し、7カ月健診の際に親子に絵本を手渡ししています。（ブックスタート事業）

- 子どもが遊び、暮らし、成長する場である地域においては、読書を楽しむ場として、また、調べ学習などに必要な情報を提供する場として、町立の図書館を設置しています。図書館では、他の関係機関やボランティア等と連携・協力しながら子どもが読書に親しむことができる機会や場所を提供することが必要です。

【現状】子どもが読書に親しむことができる機会や場所を提供するため、地域ボランティアの力を借りながら図書館でお月見やクリスマス会などの催しを行っています。読書ボランティア「ひろがり文庫」の協力のもと、定期的に読み聞かせの会を開催しています。
また、読書に関するレファレンスサービスも実施しています。

- 小学生、中学生においては、学校図書館における多様な読書活動を工夫して、子どもが多く語彙や多様な表現に触れ、新たな考え方に出会う読書の機会を充実するとともに、授業や様々な教育活動を通して学校図書館を計画的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現や子どもの情報活用能力の育成を図ることが望まれます。

【現状】小学校では読書ボランティア「ひろがり文庫」の協力のもと、定期的に読み聞かせを実施しています。また「朝読書」を行っています。冬休みには近隣町と合同で読書感想文コンクール「愛LOVEぶっくんライターコンクール」を開催しています。長期休業期間には読書におすすめの本を記載した「ぶっくんのーと」を配布しています。

2 子どもの読書環境

- 「比布町図書館」は、子どもにとって豊富な蔵書の中かから読みたい読書本を自由に選び、気軽に利用したり、読み聞かせ等の催しに参加しながら読書の楽しみを知ることができる場所であり、子どもの読書活動の推進に大きな役割を果たしています。

【現状】「比布町図書館」は、平成 30 年 7 月に 15 年を迎え、着実に蔵書を増やしてきており、現在では 5 万 8 千冊を超える蔵書を有しています。

また、毎月違ったテーマによる「テーマ展」を実施し、少しでも興味を持ってもらえるよう展示方法にも工夫を行っています。



おはなしのへや

第 3 章 子どもの読書活動推進のための方策

1 家庭・地域・学校等を通じた子どもの読書活動の推進

【具体的な取り組み】

乳幼児期

■ 日常生活の中で読書習慣を身につけさせるため、図書に出会う機会の増加に努めます。

- ・ 図書館事業の充実（としょかんまつりやクリスマス会の継続実施）
- ・ 読み聞かせボランティアの積極活用
- ・ おはなしひろばの継続実施

■子育て支援事業と連携を図ります。

- ・ブックスタートの継続実施

小学生期・中学生期

■学校と連携を図ります。

- ・朝読書の継続実施
- ・団体貸し出しの継続実施
- ・読書感想文コンクールの継続実施

高校生期

■道立図書館と連携を図ります。

- ・道立図書館で実施している事業の積極活用

2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備

【具体的な取り組み】

■子どもが読書の楽しさを知り、本に興味を持ち続けていくことができるよう、図書の実質、配置の工夫、職員の接遇向上など読書環境の実質に努めます。

- ・新刊購入を増やし、時代に沿った図書の充実

■環境整備と学校図書室との連携を図ります。

- ・選書にあたり学校図書と連携を図り、無駄のないより効率的な図書の整備
- ・小・中学校図書室における蔵書・貸出処理システムの継続
- ・図書館システムと学校図書システムとのオンライン化の継続

■職員研修の積極的な参加に努めます。

- ・資料の選択・収集など、子どもの読書活動に関する指導に関わる司書や図書館職員の資質・能力の向上を図るため、研修会等への積極的な参加

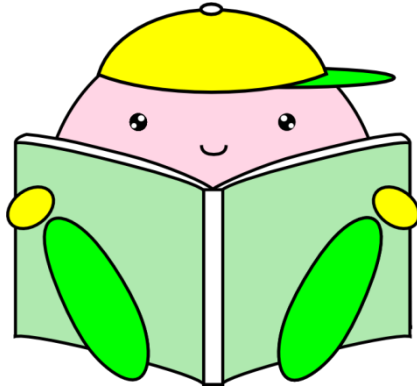
■広報活動の実質に努めます。

- ・読書活動のもつ意義や重要性について理解と関心を深めるため、広報紙やSNSでの発信など、広報の実質

3 財政上の措置

【具体的な取り組み】

■本計画に挙げられた各種施策を実施するために必要な財政上の措置を講ずるよう努めます。



比布町図書館イメージキャラクター「ぶっくん」

第2次比布町子ども読書活動推進計画

平成31年（2019年）3月策定

発行 比布町教育委員会

編集 比布町図書館

〒078-0348

北海道上川郡比布町北町1丁目2番2号

TEL 0166-85-2262

FAX 0166-85-2263